

報道関係者各位
プレスリリース

PCIホールディングス株式会社
東京証券取引所プライム市場
(証券コード:3918)
IR・広報室



“手の届く”有機農業を全国に

実績20年の有機農業を家庭へも届ける

「有機草堆肥」から始まる新プロジェクトへのご支援開始

「ITをもって安心・安全・豊かな社会に貢献する会社」を目指すPCIグループは、従来からCSR、ESG、SDGsへ取り組んでまいりましたが、2022年4月より、株式会社モアーク（本社：茨城県つくば市、代表取締役 西村 松夫、以下「モアーク社」）が展開する「有機草堆肥」を軸とした新プロジェクトへ参画いたしますのでお知らせします。

モアーク社のグループ会社である農業法人有限会社盛田アグリカルチャーリサーチセンター（本社：茨城県つくば市、代表取締役 大橋 俊介、以下、「モアーク農園」）は、独自製法の「有機草堆肥」（後段「2. モアーク社が普及に取り組む「有機草堆肥」の特徴」にて詳述）を施用した有機栽培を20年以上継続しており、そこで栽培された有機農産物は、都内のレストランや小売店等へ出荷されています。

本プロジェクトを通じてPCIグループは、国内食料自給率の向上、農業による環境負荷の軽減、2050年カーボンニュートラルの実現など、「サステナブルな社会（持続可能な社会）」の実現に取り組むと同時に、生産者ネットワークの構築や新しいEC物流システムの企画・提案等、農業へのIT技術活用（Agritech）を目指してまいります。

<関連するSDGsの目標>



1. モアーク社代表取締役 西村松夫氏からのコメント

モアークグループ（グループ外観図ご参照）では、有機農業に 20 年以上取り組み続けており、この 20 年以上の実績がモアークグループの有機農業の最たる特徴です。そして、この有機農業をもう一段階拡大するためにも、IT の力へ期待を抱いています。農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」において、2018 年時点で 0.5%（耕作面積ベース）である国内の有機栽培農業の割合を、2050 年に 25%にまで拡大すると発表しました（※）。これは、有機農業の割合を現在の 50 倍に拡大するということであり、国としても有機農業の拡大に取り組む方針を定めたのだと捉えています。そして、この大きな目標を達成するためには、有機農産物の新しい流通システムの構築が最も重要になると考えており、ここに IT の力が加わることでその実現に大きく近づくと考えています。

今回の PCI グループとのご縁をうけ、当社はまずは、従来からモアーク農園で実際に自前生産、施用している「有機草堆肥」を新しくペレット化して商品化するとともに、「有機草堆肥」を用いた伝統農法を行う生産者のネットワークを構築し、生産体制の拡大と有機農産物流通拡大に取り組めます。PCI グループの IT の力も活かし、当面はこの「有機草堆肥」の農法に共感する生産者を増やしながらかモアークブランドの有機農産物ファンの輪を広げていきます。

このプロジェクトでは、モアークグループの伝統草堆肥をペレット化して扱いやすくすることで、幅広く家庭菜園も含め有機栽培に取り組む方が増えることを目指しています。さらに、将来的には、いつでも誰でもどこからでも有機農産物を手にできる社会の実現を描いており、ここへも IT の力へ期待を抱いています。

※出典

みどりの食料システム戦略（2021 年 5 月、農林水産省）

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/>

有機農業をめぐる事情（2020 年 9 月、農林水産省）

→ <https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/attach/pdf/meguji-full.pdf>



株式会社モアーク
代表取締役 西村 松夫氏

<モアークグループ外観図>



2. モアーク社が普及に取り組む「有機草堆肥」の特徴

モアーク農園の有機農産物生産工程では、独自製法の草本雑草を主原料としてできた有機草堆肥を使います。川原の草を主原料に、天然にがり、米ぬかなど自然由来の原料のみを配合し、約1年かけて発酵させ、堆肥化します。その他の原料も全て自然由来にこだわり、人工的に作られたものは、一切使用せず「歴史に裏付けされたこと」をキーワードとして生産しています。



モアーク社の製造する有機草堆肥

モアーク社の植物由来草堆肥は、家畜の糞尿を原料とする動物性の堆肥と比較し、自然循環を促し長期間、農地を自然の状態に保つ事ができ、また、肥沃な農地をつくり出すこともできるため、永続的に栄養価が高くおいしい有機農産物を生産することができます。

SDGs の観点からも、今後さらに、農業の環境負荷軽減を目的とした植物由来の「有機草堆肥」需要が大きくなることが予想されています。PCIグループは、モアーク社へのITを通じたサポートにより、持続可能で「安心・安全・豊かな社会」への貢献を継続してまいります。



都内の有名ホテルレストランのシェフや高級スーパーといった品質志向が強い方々に長年に渡り愛顧されています。

3. 会社概要

■株式会社モアーク

ペレット化した「有機草堆肥」の商品化と生産・販売を担うためにモアークグループ企業として新設。モアーク農園で20年以上の継続実績がある有機農法を広め、新たに流通市場を創設するため、そのノウハウの核である「草本雑草堆肥」をペレット化して手軽に扱えるよう商品化・販売に取り組み、有機農産物の生産拡大及び需要創成を行い自然本来の力を活かした有機農業の発展に貢献することを目的。

会社名：株式会社モアーク

設立：2021年12月

所在地：茨城県つくば市上郷1108番地2

URL：<https://www.yukiyasai.com/index.html>（モアークグループホームページ）

代表者：代表取締役 西村 松夫

事業内容：有機肥料販売、有機農産物の流通販売、倉庫業、農産物の熟成加工（予定）

■ PCIホールディングス株式会社

IT 業界で同じ価値観と方向性を共有する事業会社を傘下にもつ純粋持株会社として、グループの戦略策定、経営資源の最適配分、事業子会社の経営監督を通じてグループ業績の向上に注力。グループの IT ソリューションを活かした社会課題の解決にも貢献し、SDGs へも継続的に取り組む。

会社名：PCIホールディングス株式会社（PCI Holdings, INC.）

設立：2005年4月

所在地：〒105-000 東京都港区虎ノ門一丁目21-19 東急虎ノ門ビル4F

市場：東京証券取引所プライム市場、証券コード：3918

URL：<https://www.pci-h.co.jp/>

代表者：代表取締役社長 横山 邦男

<本リリースに関するお問い合わせ先>

PCIホールディングス株式会社 IR・広報室 E-mail：ir@pci-h.co.jp

<農法・商品・取材に関するお問い合わせ先>

株式会社モアーク E-mail：moarcpr@yukiyasai.com TEL：029-848-1550（担当：大橋）

写真・資料・素材等がご入用の場合もお問い合わせください。

本リリースに記載のすべての製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

出典資料の引用等、調査会社の著作物を利用する場合は、出典元にお問い合わせください。